



北日本
佐高さん安保関連法案テーマに講演 戦争をさせない富山県民の会は9日、滑川市の滑川市民交流プラザで講演会を開き、経済評論家の佐高信（まこと）さんが「いま 暴走・安倍政権を斬る！」と題して話した。写真。

九州電力川内原発（鹿児島県薩摩川内市）が十一日にも再稼働するのに対し、富山市のJR富山駅前で十日、緊急抗議集会在が繰り広げられ、市民らが「再稼働反対」と声を張り上げた。

集会は、富山県平和運動センター、原発をなくす県連絡会準備会の共催。百五十人を超える参加者らは「川内原発再稼働反対」と書かれたチラシを手にし、

市民ら抗議集会

富山から「川内再稼働ノー」

「すべての原発は廃炉にせよ」「再生可能エネルギーへの政策転換をはかれ」とシュプレヒコールを繰り返して約一時間にわたって同駅周辺を行進した。

幼い娘三人と太鼓をたたきながら行進した富山市下新北町の会社員大野由実さん（三）は「福島の問題が解決していない中で、民意を無視しての再稼働には反対。親として、娘たちが安心して暮らせる社会にした」と真剣なまなざしで語った。

（岡本真穂）

国会で審議中の集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法案について一般市民に考えてもらうため、県平和運動センターと憲法擁護県民連合、社民党県連合でつくる同県民の会が開いた。

佐高さんは他国の脅威論などを唱える政治家の発言を挙げ「政治家は戦争が起きないように、外交で他国と仲良くするのが役目。攻めてきたらどうするかというの、軍人が考えること」と、安倍関連法案成立を目指す安倍政権を批判した。



川内原発の再稼働に抗議する市民らJR富山駅前



新中（統）に
日本（連）が
北（連）が
から（連）が
15日（連）が
戦争（連）が
意（連）が

「福島を忘れるな」

反対住民 原発正門前で訴え



川内原発正門前に座り込んで再稼働に反対する人たち=10日午後、鹿児島県薩摩川内市

九州電力川内原発（鹿児島県薩摩川内市）の正門前には十日、再稼働に反対する住民ら約200人が集まった。警察が厳重な警備に当たった中、「原発いらぬ」「福島を忘れるな」とシュプレヒコールを上げた。

参加者は原発周辺をデモ行進後、「再稼働阻止」などと書かれたプラカードを持って正門前に集結。警官隊にら

富山でも抗議集会
県平和運動センター（山崎彰義）と原発をなくす県連絡会準備会（増川利博代表）は十日、富山市のCIC前で、九州電力川内原発（鹿児島県薩摩川内市）の再稼働に反対する緊急抗議集会在を開いた。

九州電力は11日に再稼働する方針で、増川代表が「満身の怒りを込めて抗議しよう」とあいさつ。岡崎信也社民党県連副代表と高橋渡共産党県委員会書記長が一国内で二年近く「原発ゼロ」が続いたが電力不足は起きていないとし、再稼働反対と全原発の廃炉を訴えた。山崎議長は発声で参加者約150人が団結ファンパローを三唱。集会后は周辺をデモ行進した。